



行動規範

目次

3 CEOからのメッセージ

4 行動規範の遵守

- 6 当社の行動規範は皆さんのリソース
- 6 助言の要請と懸念の提起
 - 7 Medline の Open Talk ヘルプライン
 - 7 報告
- 8 報復禁止
- 8 調査
 - 8 内部調査
 - 9 政府による調査

10 同僚および ビジネスパートナーへの尊重

- 11 差別禁止
- 12 職場の安全
- 11 ハラスメント禁止
- 12 安全・健康上の懸念に関する報告
- 13 社員のプライバシー
- 13 データの保護

14 誠実な行動

- 15 利益相反
 - 15 金銭的利益
 - 15 個人的関係
 - 16 副業と社外活動
 - 16 ビジネス機会の個人的利用
- 17 贈答品、接待その他の利益供与
 - 17 贈答品の提供
 - 17 贈答品の受領
 - 17 飲食
 - 17 接待
 - 18 リベートと割引
 - 18 旅費
 - 18 学会と専門家会合
- 19 贈収賄・汚職行為禁止
- 20 製品品質と規制遵守
- 21 公正な競争
- 22 顧客、サプライヤー、規制当局、
ビジネスパートナーに対する誠実な対応
- 23 貿易管理法の遵守

24 公正な取引の実施

- 25 資産の保護
 - 26 機密情報
 - 26 ソーシャルメディア
 - 26 知的財産
- 27 財務記録
 - 27 透明性に関する法律
 - 27 記録の保持
 - 28 財務上の心得
- 28 政治参加
- 29 慈善寄付

30 コンプライアンスリソース

CEOからのメッセージ



社員の皆さん

誠実第一。 実に簡単なことです：私たちが誠実さを一番大切にすれば、社員間はもとより顧客やコミュニティに対して Medline が毎回正しいことを行う信頼できる雇用主でありパートナーであることを示すことができます。

Medline は、全社員に対して前向きな職場環境を提供すると共に、当社の業務と顧客対応の各局面で、正直かつ倫理的な行動を取るよう期待しています。何世代にもわたる大変な努力と顧客への献身によって獲得した当社の評判を守り維持する取り組みを続けます。

Medline の方針と手順に従って正しく行動することは、各社員の責任です。この行動規範は、当社の本質的な価値観と信条について詳述し、政府機関、顧客、競合他社との関係や社員間の関係を規定するものです。すなわち、この行動規範は、当社の成功には欠かせない全ての社員、会社環境、財産、モノなどを守るために作られています。これによって私たちは、お客様に商品・サービスを提供でき、患者のケアを向上することができます。

本行動規範は、Medline の社員が日常行うべき正しい判断や常識に取って代わるものではありません。何か問題のありそうなときは、管理職社員、倫理コンプライアンス部門責任者または当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）に相談してください。Medline の Open Talk ヘルプラインは、ガイダンスと答えを提供する優れたリソースです。疑問を提起し、誠実な報告を行い、適切な手順に従うことが肝心です。

私たちは、要件に応じて行動するだけでなく、正しいことを行うことに取り組んでいます。ヘルスケア業界において誠実さとリーダーシップを推進する立場を維持するため、引き続き各人の役割を果たさうではありませんか。

Charlie Mills

（最高経営責任者）

行動規範の遵守

すべての業務を誠実に行ってください。

非倫理的に見える状況や行動規範の精神に違反する可能性のある状況に注意してください。

ある業務活動が非倫理的または違法である可能性があったり、行動規範その他のコンプライアンス規程に違反する可能性があるると懸念される場合は、質問しましょう。

行動規範、コンプライアンス規程その他の規則、法令に違反している疑いのある場合は、適切な担当者に報告してください。

商取引、倫理違反または違法行為の可能性に関するいかなる調査や監査にも全面的に協力してください。



行動規範とは？

本行動規範は、当社の倫理コンプライアンスプログラムの基盤となるものです。私たち各人が、合法的かつ誠実に行動することを保証するためのガイドとして機能します。本規範を遵守することは、単に規則に従うことを意味するものではなく、当社の業務において**法律を遵守し、誠実に、信頼に値するよう、公正に行動する**コミットメントを果たすこととなります。

本規範の適用対象は？

本規範は、社員や請負業者をはじめ、役員および取締役会のメンバーなど、**当社の業務に携わるすべての者**に適用されます。顧客やサプライヤーなど、私たちとかわりのあるすべての関係者が、倫理とビジネスに関する高いレベルの基準に対する私たちの取り組みを共有してくれることを期待します。

各人の責任とは？

皆さんが、本規範と Medline のコンプライアンス規程に精通することを期待しています。法的、倫理的要件およびその遵守に対する当社の期待について知識と理解を深めるために、皆さんには倫理コンプライアンスに関するトレーニングを受けていただきます。また皆さんには、規範を通読し、その内容を理解してこれを遵守することを定期的に書面で確約していただきます。

Q&A

Q: 規範に違反した場合どうなりますか？

A: 自身の監督下にある社員による違反を探知し報告することを怠った者とあわせて、行動規範に違反した者は、解雇を含む懲戒処分の対象となります。

Q: 当社のコンプライアンス規程はどこにありますか？

A: Medline のコンプライアンス規程は、各地域のコンプライアンス関連イントラネットサイトで閲覧できます。規程の所在がわからない場合は、直属の上司または他のコンプライアンスリソースに問い合わせてください (30-31 ページを参照)。

Q&A

Q: Open Talk ヘルプラインの使い方は？

A: ヘルプラインに電話をすると、特別に訓練を受けた委託先の担当者が、「Open Talk ヘルプラインに電話していただきありがとうございます」と応答します。相談者は、新たな事案を報告するのか、以前に電話した件の現況を確認するのかを尋ねられます。初めての電話の後、フォローアップすることは義務ではありませんが、自由に行ってください。初回の報告の内容によって、解決までの時間が異なります。皆さんの報告に含まれる情報はできる限り機密情報として扱い、通常の場合、報告に対応する責任のある特定の者のみが閲覧できるようになっています。

Q: Open Talk ヘルプラインは、多言語で利用可能ですか？

A: はい。オペレーターは、各言語に対応できます。したがって、ある事案の報告または状況の説明を、例えばスペイン語で行うこともできます。その場に通訳者がいない場合は、後で電話をかけ直すよう求められることもあります。

当社の規範は皆さんのリソース

皆さんは、本規範を最も重要な倫理・コンプライアンスリソースと見なし、ご自身または他人の行動が倫理的に問題があるかどうかに関して疑義が生じた場合は、常に参照する必要があります。本規範には、当社に適用される倫理的原則と規則の一般的な概要が述べられていますが、さらに詳細な規則を定めた特定の規程も用意されています。このような分野での特定の疑問が生じた場合は、規程を参照してください。規程と規範の間、または地域の法律と規範の間に矛盾がある場合は、コンプライアンスリソースにお問い合わせください(30-31 ページを参照)。

助言の要請と懸念の提起

いかなる行為や行動であれ、規範に違反しているかもしれないと思う場合、皆さんはそれについて質問し、懸念を直ちに報告する責任を負っています。当社には、このような質問に対応し、違反の可能性に対処するにあたって、以下のコンプライアンスリソースを定めています：

- » 直属の上司
- » 倫理・コンプライアンス最高責任者（COO）
- » 人事担当者
- » ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）
- » 法務・コンプライアンス担当スタッフ – 欧州、日本またはオーストラリア
- » 各地域における倫理・コンプライアンス関連リエゾン





Medline の Open Talk ヘルプライン

直接当社のコンプライアンスリソースの1つを通して倫理的な問題を提起することが推奨されますが、皆さんがそれを躊躇することも理解できます。皆さんは、**Medline の Open Talk ヘルプライン** (1日24時間、週7日)の本書の末尾に記したフリーダイヤル、または以下のインターネットサイトにアクセスして、懸念を提起することもできます。

www.medlineethicsandcompliancehelpline.ethicspoint.com

Open Talk ヘルプラインを利用すると、委託先の担当者に懸念を提起することができ、匿名による相談も選択できます。

匿名による報告が地域の法律で禁止または規制されている場合には、Open Talk ヘルプラインを利用する際、氏名を提示する必要があります。法律で禁止されていない限り、また可能な範囲で、当社は皆さんからの報告内容を機密情報として取り扱います。皆さんは、自分の報告を更新、編集する権利があります。Medline は、データのプライバシーに関して適用されるすべての基準を遵守します。

地域の法律に関して質問のある方は、プライバシーに関する規程や各地域のイントラネットサイトに掲載された情報をご覧になるか、グローバルプライバシー担当役員を兼ねている倫理・コンプライアンス最高責任者まで連絡してください。

書面による報告

書面によって倫理・コンプライアンス上の違反について報告したい場合、書面に「Confidential—To Be Opened by The Chief Ethics and Compliance Officer」(機密情報、倫理・コンプライアンス最高責任者宛親展)と記して以下の宛先を記入してください：

宛先 : Chief Ethics and Compliance Officer, Three Lakes Drive, Northfield, Illinois 60093, USA

懸念事項について質問したり報告することによって、**皆さんは正しいことを行っているのです!**

Q&A

Q: Open Talkを利用して、どのような事案を報告するのですか?

A: ほとんどの国々では、規範その他の規程または手順に対する違反やその可能性を含む倫理コンプライアンス上の懸念を報告することができます。一部の国々では、Open Talkを利用して報告できる内容が、地域の法律によって制限されています。詳しくは、Open Talkウェブサイトをご覧ください。それらの国々では、Medlineの他のコンプライアンスリソースを利用して質問や報告を行うことができます(30-31ページを参照)。



一口メモ

確信がもてない場合は?

行動規範を読み直し、当社の規程を参照することで疑問や倫理的なジレンマを解決できることが多いものの、特定の状況下であったりまたは何かが「**正しくないような気がする**」場合、どう対処してよいか確信がもてないこともあります。何らかの原因で不安を感じる場合は、各地域のコンプライアンスリソースに問い合わせてください。

Q&A

Q:「報復される」とはどういう意味ですか？

A: 懸念を報告した後、その個人が以前と異なる扱いを受けた場合、それは報復の一形態と言えます。懸念を報告した結果、報告者が解雇または降格処分を受けたり、仕事関連の昼食会議から除外されたり、または他の部署に異動させられるような報復措置は、いかなるものであろうと厳禁されています。報復かもしれないと思われるような行動について質問のある場合は、それについて当社のコンプライアンスリソースに相談してください。

報復禁止

当社では、規範の違反または違反の可能性について誠意をもって報告した者に対して報復を行うことが禁止されています。誠意をもって不正の疑いを報告した人に対して報復を行った者は、解雇を含む懲戒処分の対象になります。

私たちは
決して
報復し
ません。

調査

報告のあったすべての違反について、審査と調査が直ちに行われます。可能な限り、また法的な義務に則って、各調査の内容は機密情報として扱われます。

内部調査

状況によっては、倫理コンプライアンスに関する懸念を抱いたり報告したことがなくても、調査に関連して社員が質問を受けることがあります。私たちは皆、申し立てられた規範違反の調査に正直に全面的に協力することが求められています。もし調査の結果、規範違反が事実であったとすると、適切な経営幹部と協力して倫理・コンプライアンス最高責任者が適切なフォローアップの評価を行って、問題の行為が停止し、再発が防止されたことを確認します。この調査はときに、政府当局への開示または法的手続きの開始を必要とする場合があります。



政府当局による調査

政府当局による調査が行われる場合、当社の規程では皆さんの全面的かつ即時の協力を求めています。政府当局による調査が既に開始されたり、開始する予定であると合理的に信じられるような情報を得たときは、直ちに当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）に通知する必要があります。

政府当局から召喚状、監査請求、査察通知などを受けて文書の提出を求められた場合は、できるだけ早くそれらを当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）に転送してください。

政府当局の調査に関する当社の規程には、文書または口頭による当局からの問い合わせに対応するためのガイダンスも記されています。



一口メモ

手本を示す

倫理コンプライアンスに対する当社の責任を遂行する上で、当社の経営陣と管理職社員が重要な役割を果たしています。経営陣と管理職社員を含むすべての社員が、手本を示してくれることを当社は求めています。すなわち：

- » 常に誠実な社風を創り出し、それを維持する。
- » 倫理的行動を優先させる。
- » 社員が倫理コンプライアンスに関して安心して疑問や懸念を提起できるような職場環境を維持する。



同僚および ビジネスパートナーへの尊重

社内の同僚や共に仕事をする各社員の多様性を認識しましょう。

仕事に徹した協力的な職場環境の維持に努めましょう。

日頃の業務において、社員と顧客の安全と健康に配慮しましょう。

ご自分や他の社員の扱いに関する懸念を、遠慮なく発言してください。

同僚、顧客、またはビジネスパートナーの個人情報を取り扱う際には、十分注意を払ってください。

Q&A

Q: ハラスメントとは常に性的な性質を含むものですか？

A: いいえ。ハラスメントは相手に不快感を与えるあらゆる種類の行いを意味し、いじめ、脅迫的発言、ネガティブなステレオタイプ化のほか、法律で保護された属性に対する他の否定的な扱いなどが含まれます。



差別禁止

当社は、人種、宗教、性別、性的指向その他法律で保護された他の属性にかかわらず、雇用の機会を提供します。差別のない職場の実現への取り組みの一環として、採用、昇進その他の雇用に関する決定は、すべて業務関連適性に基づいて行われます。

ハラスメント禁止

当社では、互いの人格を尊重することが最優先される職場を推進しています。不快な職場環境を形成するいかなるハラスメントも、当社は容認しません。セクシャルハラスメントはハラスメントの一種で、以下のように分類されます：

- » 言語的ハラスメント：書面によるか口頭によるかを問わず、相手にとって不快で攻撃的な発言や、卑猥なまたは性的暗示を与える言語を用いたり、性的な冗談、電子メール、口説き、誘惑、明らかな脅迫、性的な意味を含む会話などを行うこと
- » 身体的ハラスメント：体に触るなど、相手にとって不快な接触を行うこと
- » 視覚的ハラスメント：相手にとって不快で性的に露骨なジェスチャーや性的対象として人物を写した写真や物（例えば、カレンダー、ポスター、インターネット画像、雑誌、落書き）を見せること

当社の規程では、あらゆる形態のハラスメントが禁止されています。



一口メモ

法律による保護は？

Medline では、法律で保護された属性に基く差別およびハラスメントが禁止されています。地域の法律にもよりますが、それらの属性には以下のものが含まれます：

- » 人種
- » 宗教
- » 性別
- » 肌の色
- » 出身国または民族
- » 年齢
- » 性的指向
- » 従軍歴または退役軍人の身分
- » 婚姻 / 配偶関係
- » 障害
- » 妊娠の有無
- » 政治的見解
- » 言語
- » 思想
- » 信条
- » 家庭環境

職場の安全

Medline では、すべての業務において安全と健康に配慮しています。勤務中は、安全上のリスクに注意を怠らないことが重要です。自身の職場に適用される緊急時の手順を理解し、周囲の全員の安全と健康を確保するよう行動してください。

Medline は常に労働安全衛生法を遵守します。

安全は当社の最優先課題です。

安全・健康上の懸念に関する報告

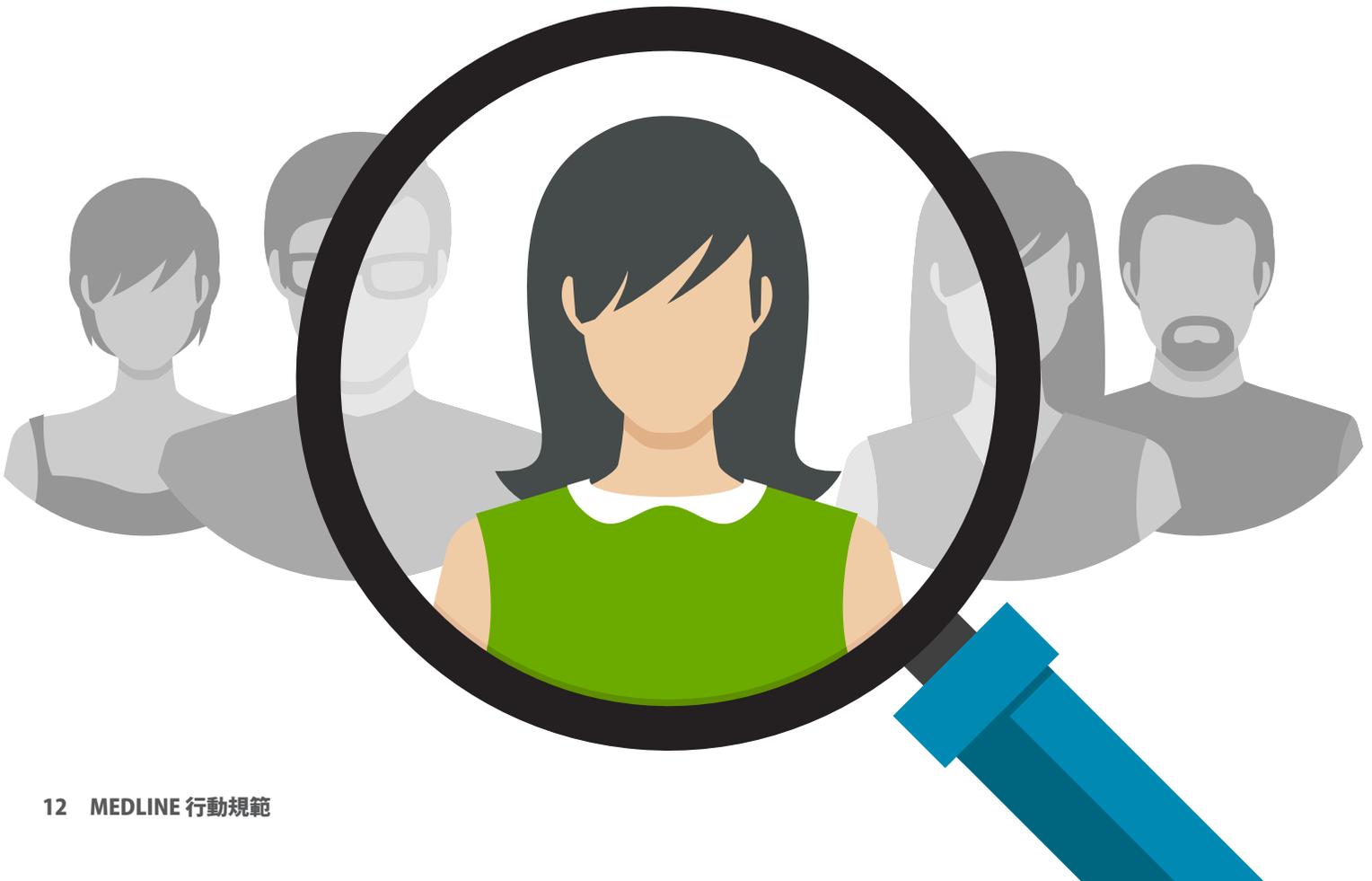
安全上または健康上の懸念が生じたときは、直ちにコンプライアンスリソースに報告してください(30-31 ページを参照)。

安全と健康に関する Medline の規程についての詳細は、皆さんの地域に適用される「社員ハンドブック」と「職場の安全規則」をご覧ください。

一口メモ

安全第一

職場内で危険な行為を目撃したら、遠慮なく発言しましょう！コンプライアンスリソースに知らせることで、皆さんは正しいことを行っていることになるのです(30-31 ページを参照)。



当社は、事業を展開する全ての国々において、個人情報と個人データの利用と管理に関する法律および契約を遵守しています。

社員のプライバシー

当社の社員および当社のために業務を行うすべての人たちの個人情報と個人データを尊重することは、当社にとって最優先事項です。職務上社員の個人情報や個人データを閲覧し、利用する必要のある者だけがこれらにアクセスできます。このような機密データを扱う上で、このような業務を担う者が最高水準の注意と敬意を払うことを当社は求めています。

データの保護

当社の顧客およびビジネスパートナーは、日頃から機密情報を当社に預け、細心の注意をもって業務目的にのみ使用されることを期待しています。このようなデータには、しばしば個人の健康情報など特に注意を要する機密情報が含まれています。当社は、事業を展開するすべての国々と地域で、データのプライバシーとセキュリティに関する法律および個人の健康情報の保護を規定する特定の法律を含むすべての法律を遵守します。すべての機密情報は自分自身のデータのように取り扱い、許可されていない限り共有しないでください。

詳細は、各地域の「データ保護、プライバシーおよびセキュリティに関する規程」を参照してください。



Q&A

Q: 職場で目にする可能性のある個人情報の例として何がありますか？

A: 個人情報とは、ある個人に関して、その個人を特定できるようなあらゆる情報をいいます。たとえば、給与に関する情報やその他の財務情報も個人情報とみなされます。個人情報には顧客の氏名と住所のリストも含まれます。



一口メモ

現地の法律

一部の国々では、個人データを国境を越えて転送することが法律で禁じられているので、それに従う必要があります。このような法律は、他の社員や顧客に関連する情報が否かを問わず、あらゆる種類の個人情報に適用されます。個人情報または個人データの取り扱いに関して質問のある方は、プライバシー担当役員を兼任する倫理・コンプライアンス最高責任者までご連絡ください。

誠実な行動

会社にとって最善の利益となる決定をしてください。

業務上の決定や行動に影響を及ぼし得るいかなる価値のあるものも授受しないでください。

当社の製品とサービスの強みに基づいて、公正かつ正直にビジネスを獲得しましょう。

当社製品の安全な使用に関するすべての規制の文言とその精神を遵守してください。

当社が事業を展開する各地域に適用されるすべての法律を遵守してください。

利益相反

皆さん個人の利益が会社の利益と対立または相反したり、またはそのように見える場合に、利益相反の可能性が生じます。

常に会社にとって最善の利益を図って行動すること、すなわち、利益相反を生じるか、あるいはそのように見えるいかなる行動や個人的利益も回避することが重要です。利益相反がどのように生じるかは必ずしも明確ではありません。利益相反と思われる行動や個人的利益については、倫理・コンプライアンスの担当者に相談してください。本規範に利益相反の可能性のある事例をすべて記載することは不可能ですが、皆さんが通常回避すべき行動を以下のセクションに例示します。

利益相反の可能性のある事例を透明性の精神をに則って開示します。

金銭的利益

皆さんが直接的、間接的に金銭的利益を保有している場合、利益相反が生じ得ます。たとえば、皆さんが以下のような対象に直接的、間接的な金銭的利益をもつ場合、利益相反が存在する可能性があります：

- » Medline の顧客
- » Medline の取引先企業
- » Medline の競合他社

よって、皆さんがこの種の金銭的利益を引き続き保有する意向である場合、Medline に雇用される以前からその利益を保有していたとしても、それを開示する必要があります。

個人的関係

Medline と現在取引があるか、取引を希望している相手と個人的な関係がある場合、利益相反が生じる可能性があります。たとえば、以下のような場合、利益相反が生じます：

- » 近い親戚、家族の一員または友人が Medline のサプライヤーになることを希望し、または競合他社で勤務している場合
- » 個人的に近い関係をもつ相手が部下であり、またはその相手が上司である場合
- » 親密な個人的関係をもつ相手の採用、雇用継続または雇用契約に関与する場合



一口メモ

開示することが肝心

利益相反または利益相反の可能性についての重要な点は、Medline 内の適切な担当者に状況または活動を必ず開示して、審査と対処を受けることです。利益相反を生じ得るか、またはそのように思われる状況や活動を開示することで、必ずしもその活動への参加が禁じられるものではありません。場合によっては、話し合いと評価の結果、皆さんと当社の間で利益相反を生じることなく特定の活動に参加できる方法が見つかるかもしれません。

Q&A

Q: Medline のサプライヤーや顧客企業の株式を保有することで、常に利益相反が生じますか？

A: 株式の保有は、必ずしも利益相反にはつながりません。たとえば、Medline と取引があるか、または競合する株式公開大企業の株を多少保有しても、通常の場合利益相反とはなりません。株式所有持分に関する質問がある場合は、利益相反に関する規程、または倫理・コンプライアンス最高責任者への開示が肝心であることをお忘れなく。

副業と社外活動

会社への忠誠心と個人の利益を分離する可能性があるような場合、副業は利益相反を生じ得ます。原則として、以下の行為は禁止されています：

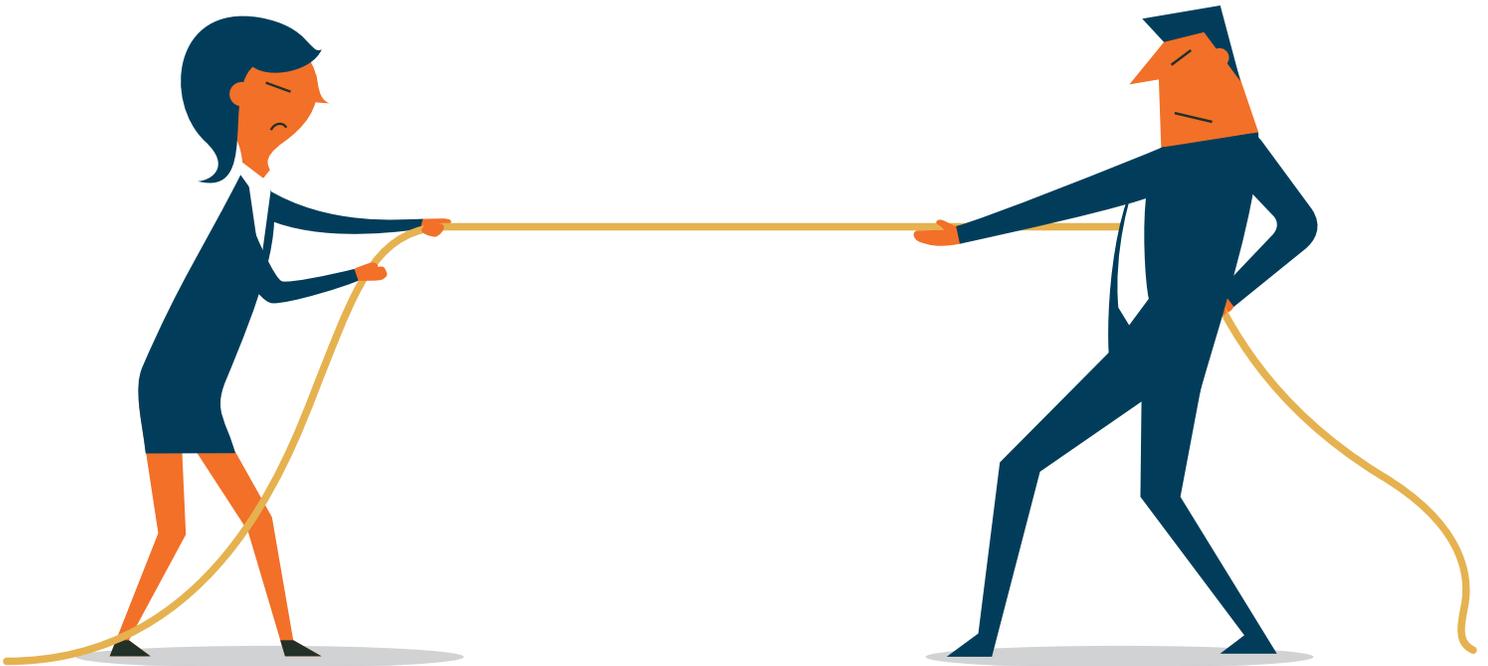
- » Medlineの取引先または競合他社のもとで副業を行うこと。
- » Medlineにおける各自の職務を遂行する能力に悪影響を与えかねないボランティア活動などの社外活動に参加すること。

ビジネス機会の個人的利用

Medlineに属するビジネス機会を個人が利用すると、利益相反が生じる可能性があります。職務を通じて知ったMedlineに当然に属するビジネス機会は、決して隠したり個人的に利用してはなりません。

利益相反を生じる状況に気付いたり、ある状況が利益相反となるかどうかについて疑問のある場合は、このような状況について倫理・コンプライアンス担当スタッフに相談して適切な解決を図ることが重要です。

場合によっては、当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）と倫理・コンプライアンス最高責任者に対して事前に書面により通知し、書面による承認を得れば、特定の活動への参加が許可されます。



贈答品、接待その他の利益供与

医療従事者や他のビジネスパートナーと贈答品、接待などの利益供与を交換することを禁じる特定の法律および社内規程が存在します。したがって、皆さんにとって関連規則を理解し、正しい判断を下すことが非常に重要です。

贈答品の提供

一般的に、現行のまたは潜在的な顧客、あるいは医療従事者に贈答品を提供することは禁じられています。これについては例外が多少ありますが、当社の規程を熟読することが重要です。それでもなお例外が適用可能か否かについて確信が持てない場合は、贈答品を提供する前に倫理・コンプライアンス担当スタッフに確認してください。

贈答品の受領

限られた状況下では、ビジネスパートナーからの贈答品を受領することが適切な場合もあります。ただし、当社の業務上の決定に影響を及ぼし得るか、または影響を与えるように見える贈答品を受け取る際には、特別な注意を払う必要があります。一般的に、以下の条件下において贈答品の受領は適切です：

- » 開示されている
- » こちらから要求したものではない
- » 通常の商習慣と供与者側の規程に則っている
- » 名目的な価値しかない
- » 受領者の行動や判断に影響を及ぼす、または影響を及ぼすようには見えないこと

贈答品の価値の上限などの詳細については、各地域の「ビジネスパートナーからの贈答品の授受に関する規程」を参照してください。

飲食

医療従事者とビジネスパートナーに対する飲食の提供については、Medline に特定の規程があります。一般的に、適度の飲食を業務目的で時折提供することは認められています。詳細は、各地域の「飲食接待に関する規程」を参照してください。

接待

医療従事者や公務員に対して接待を提供することは、いかなる場合も許されません。接待には、スポーツ観戦その他のレクリエーション活動への招待も含まれますが、必ずしもそれらに限定されません。

当社では、業務上の決定に影響を及ぼす可能性のある贈答品の授受は行いません。



Q&A

Q: 受領してもよい贈答品にはどのようなものがありますか？

- A: 例として以下のようなものがあります：
- » ペン、マグカップ、カレンダーなどのささやかな記念品
 - » 頻繁でない適度なビジネスランチ
 - » 他の社員と一緒に食べられるような食品の贈答品

贈答品の申し出があり、それを受領することが適切かどうか確信が持てない場合は、各地域のコンプライアンスリソースに問い合わせるのが常に賢明です (30-31 ページを参照)。



一口メモ

禁止された贈答品

現行のまたは潜在的なビジネスパートナーに供与してはならない贈答品としては、以下のようなものがあります：

- » 現金またはその同等物 (贈答品カードや商品券を含む)
- » 過度に高額な贈答品
- » 受領者側の贈答品関連規程に違反する贈答品



過度に高額な贈答品との適切な交流

Medline では、米国の反キックバック法、海外腐敗行為防止法その他の連邦法および企業運営に適用される州法を含む関連法を遵守するため、医療従事者とその代理人や職員に対する利益供与の上限を定めた規程を設けています。

直接、間接を問わず、また公然か否かを問わず、現金、現物を問わず、医療従事者やその仲介者に対して、当社の製品またはサービスの購入、リース、注文、または購入のための手配、推薦を促すために、いかなる形であれ報酬（手数料、賄賂、リベートを含む）を申し出たり供与してはなりません。

質問のある方は、当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）、倫理・コンプライアンス最高責任者、またはヨーロッパ地域では、法務・コンプライアンス担当者にご相談ください。

リベートと割引

状況によっては、ビジネスパートナーや医療従事者にリベートその他の形式で割引を提供することは適切な場合もありますが、このような行為は、Medline の特定の諸規程によって規制されており、当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）と倫理・コンプライアンス最高責任者の審査と承認を得て初めて供与できることに留意してください。

旅費

当社では、旅費の支払いを規定する特定の諸規程があります。一般的に、顧客が当社の施設を訪問する場合を除き、現行のまたは潜在的な顧客や医療従事者にその旅費の支払いを申し出てはなりません。

詳細は、各地域の「医療従事者との交流に関する規程」を参照するか、コンプライアンスリソースを利用してください（30-31 ページを参照）。

学会と専門家会合

社外の組織主催の善意に基く、独立した、教育目的の、科学または政策関連会議（以下「第三者会議」）については、それが科学知識、医学の進歩またはヘルスケアの効果的な提供を推進するものであれば、当社は支援する場合があります。

会議を支援するまたは協賛することを希望する場合は、倫理・コンプライアンス部門の事前承認を得るか、あるいはヨーロッパ地域では法務・コンプライアンス担当スタッフに相談してください。





贈収賄・汚職行為禁止

Medline では、あらゆる形態の贈収賄と汚職行為が禁止されています。当社では、ビジネスの獲得・維持のため、または不公正な業務上の優位性の獲得・提供のために有価物の授受を行いません。すなわち、当社または他の当事者の決定に影響を及ぼすか、またはそのように思われるいかなる有価物も授受することはありません。

贈収賄関連法の対象は、現金のみではありません。「有価物」には、以下の事物が含まれます：

- » 機密情報の交換など、便宜を図り合うこと
- » 慈善寄付または政治献金
- » 雇用主の推薦状または企業への紹介状を提供または受領すること

当社は、米国の連邦海外汚職行為防止法（以下「FCPA」）や英国の2010年贈収賄法（以下「英国贈収賄法」）のほか、他地域における類似の法律を含む適用可能なすべての腐敗行為防止法を遵守します。

現地贈収賄と汚職行為を取り締まる法律が異なることもありますが、現地の法律や習慣にかかわらず、当社はグローバル事業のすべての局面で同じ原則を適用します。当社では、**公務員、政府の職員および民間のビジネスパートナーを含むあらゆる取引相手に対して贈収賄と汚職行為を禁じています。**当社の代理人、サプライヤー、販売業者を含むすべてのビジネスパートナーがこれらの原則を尊重し、遵守することを当社は求めます。

FCPA や英国贈収賄法を含むいかなる腐敗行為防止法の遵守を怠った場合も、当社および社員個人の双方に刑事罰および民事罰が課せられる結果となり得ます。このような罰則は、高額な罰金および懲役刑を含む大変厳しいものである可能性があります。

詳細は、Medline の腐敗行為防止規程を参照するか、またはコンプライアンスリソースを利用してください（30-31 ページを参照）。



米国政府との業務取引

米国内で米国政府またはその職員と業務取引する際は、規範に定められた規則より厳しい規則が適用される可能性があります。

たとえば、米国政府あるいは米国退役軍人局病院のような公立病院の職員と取引する際には、有価物を供与する前に「政府職員への利益供与に関する規程」を調べてみる必要があります。

法律および当社の規程のもとで、どんな行為が許されるかについて確信が持てない場合は、当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）または倫理・コンプライアンス最高責任者に相談してください。

Q&A

Q: どのような人が公務員にあたりますか？

A: 「公務員」または「政府関係者」という語は、広い意味もっています。たとえば、以下の者はすべて公務員とみなされます：

- » 政府のために働くすべての者
- » 公営企業で働くすべての者
- » 公職の候補者
- » 取締役、税関吏、税務署員など、雇用、選挙または任命を通じて政府関係の機能を果たすすべての者
- » 米国外の病院の多くは政府の所有または運営によるため、米国外の病院の社員および管理者のほとんどの者

患者の安全が極めて重要

当社では、その製品とサービスの利用者の健康に深く関わっているため、それらの品質に関して何ら妥協することはありません。当社の品質保証、品質管理、規制関連業務および滅菌担当の各チームは、互いに協力し合って当社製品の品質と性能を日常的にモニターしています。各チームは、当社製品が患者の安全要件をすべて満たしていることを確認します。製品の安全に関するいかなる懸念も、直ちに経営陣によって対処され、必要に応じて適切な公衆衛生局または規制当局に報告されます。

製品品質と規制遵守

当社は、その製品とサービスの強みに基づいて事業を展開、維持するよう取り組んでいます。個人の健康を改善する製品とサービスを製造、提供することが当社の事業にとって不可欠ですが、それには製品やサービスの品質と使用に関する規制要件を遵守する取り組みが必要となります。

当社は、製品に影響を及ぼすあらゆる規制を遵守する責任を負っています。米国食品医薬品局（以下「FDA」）など、各地の規制当局の承認や認可を得るための申請中の製品については、決して販売促進を行ってはなりません。また、適応外の使用や認可された用法以外の使用を促進してはなりません。



公正な競争

独占禁止法や競争法は、競合他社やサプライヤーとの関係において、特定の活動や商取引を幅広く禁止しています。どの地域で事業を展開するかによって、その司法管轄地の競争法が適用されます。これらの法律は、企業にとって健全で顧客にとって良いこととなる適度な競争を促進するという観点から重要です。これらの法律は複雑なうえ、それに違反すると会社と個人の双方に厳しい罰則が適用されます。

市場における価格協定、不公正な取引制限または不当に制約された競争を伴う商取引、またはそのように思われる取引は、絶対に回避する必要があります。禁止されている活動としては、以下の例が挙げられます：

- » 商品、市場、顧客または販売地域の分配について競合他社と合意すること
- » 見込みの顧客に対して、取引を拒否したり、特定の条件下でのみ取引を行うこと
- » 特定のサプライヤーをボイコットすること
- » 特定の製品の製造、販売、生産または流通を差し控えたり制限すること
- » 入札談合



誤解を招く発言

いかなる表現手段による場合でも、虚偽または誤解を招く恐れのある発言を行ってはなりません。これには、競合他社の製品、サービスまたは社員についての発言が含まれます。**Medlineの製品やサービスを競合他社のそれと比較するあらゆる発言は、公正かつ事実に基づいたものでなくてはなりません。**

競合他社がその製品またはサービスについて、見込みの顧客に誤解を招く恐れのある発言を行っていると考えられる場合は、その旨を当社のコンプライアンスリソースに報告してください(30-31 ページを参照)。

顧客、サプライヤー、規制当局およびビジネスパートナーとの誠実な対応

当社は、公明正大でかつ誠実な企業間競争を信条としています。当社の広告とマーケティングは常に誠実かつ率直であるべきで、技術的、科学的な特徴をもつ場合は、データによる裏付けが必要です。

マーケティング用の資料は、すべて関連法規に遵守している必要がありますことに留意してください。たとえば米国内では、マーケティング関連資料は、FDAの法規と連邦反キックバック法に遵守する必要があります。社内で配布したり顧客や外部の関係者と共有する前に、該当する当社での手順と地域の関連法規に従ってマーケティング関連資料をすべて見直してください。

オープンで正直なコミュニケーションがビジネスを獲得する。

詳細は、各地域のコンプライアンスリソースを参照してください。

競合他社と競合情報について話し合うことも厳禁です。 競争にかかわる情報としては、以下の例が挙げられます：

- » 販売価格または価格設定方針
- » 流通方針
- » サプライヤーまたは顧客の選定
- » 入札
- » 割引、販売促進、利益、コストまたは契約条件

以下に挙げた取り決めを行うには、事前に当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）か倫理・コンプライアンス最高責任者に相談する必要があります：

- » 顧客がある製品を購入する際に、他の製品との抱き合わせを条件とすること
- » 複数の製品群を購入する約束を条件に、製品の割引を提供すること
- » 顧客が新製品に移行するためのサポートサービスを含めるなどの「付加価値」を製品購入時に付与すること



貿易管理法の遵守

公正な商取引を行うことの一部には、輸出管理規制法や経済制裁を課す法律を遵守することがあります。これらの法律は、特定の製品や技術データの国外輸出を制限するほか、特定の国々、組織、さらには個人との取引も制限しています。これらの法律は複雑で、当社にとって重大な結果をもたらすものです。当社の国際ビジネスに従事する方には、適用される関連法規を理解することが求められます。

このような法律についての質問や、顧客または競合他社との取引にどう影響するかについての質問がある場合は、グローバルトレードコンプライアンス担当スタッフ、倫理・コンプライアンス最高責任者または当社ジェネラル・カウンセル（法務最高責任者）までご連絡ください。

Q&A

Q: コンサルタントや第三者に委託する際に注意しなければならないレッドフラッグ（危険な兆候）は何ですか？

A: 代理人や仲介者と仕事をする際は、当社が彼らの違法行為の責任を取られる可能性があるため、特に注意が必要です。第三者を雇用する際に考慮すべきレッドフラッグ（危険な兆候）とは、以下のようなことです：

- » 第三者が政府の職員かその親戚または友人であったり、公職候補者であるかどうか
- » 代理人または仲介人への委託に先立って第三者または他国に対して現金を払い込むよう要求するかどうか
- » 委託する活動が、代理人または仲介人の本業であるかどうか

代理人や仲介人の雇用に先立って、各地域のコンプライアンスリソースに相談してください（30-31 ページを参照）。米国外では、代理人、仲介人または他のビジネスパートナーや第三者への委託には、特別な規程が適用されます。



公正な取引の実施

会社の資産を守る。

機密情報を注意深く取り扱う。

業務上のコミュニケーションは、事実に基き、プロ意識を持ち礼儀正しく行う。

会社の記録を作成し扱う際には、慎重かつ万全を期して注意深く行う。

地域のコミュニティに利益を還元し、支援する。

資産の保護

会社の資産を守ることは、当社の事業の成功にとって不可欠です。当社の資産には次のようなものが含まれます：

- » 社屋、設備、備品などの物理的資産
- » 財務的資産
- » 通信システム
- » 情報資産
- » 知的財産

これらの資産を慎重に利用し、破損、浪費、悪用または盗難から守る必要があります。

通常、社員の皆さんは、会社の資産を業務目的にのみ利用することができます。適切な判断と常識を駆使する限り、会社の資産を個人的に限定的に利用してもよい場合があります（たとえば、オフィスを退出する前にインターネットを使って交通情報をチェックするなど）。

皆さんが勤務時間中に会社の資産やシステムを使って発信したり作成する文書は、Medline の評判に影響するため、データのプライバシーに関する法律を含む現地の法律その他適用される法律による制約がない限り、当社は電子メディアと通信システムの利用をモニターする権利があることに留意してください。

コンピューターおよび電子メディアの利用に関する当社の規程の詳細は、各地域のイントラネットサイトでご覧ください。

Q&A

Q: 顧客との業務の際に、どうすれば機密情報を責任をもって取り扱うことができますか？

A: 顧客に対応する際は、機密情報の取り扱いに細心の注意を払う必要があります。機密情報を開示する権限が与えられていることを確認し、すべての適用手順に従う必要があります。顧客との関係維持に必要という理由で機密情報を顧客に開示することは、絶対にしないでください。このような機密情報には、当社に関する情報のほか、他の顧客または第三者から当社に開示された情報などが含まれます。また、顧客の機密情報にアクセスを得る代わりに価値のある何らかのものを顧客に提供する申し出を決して行ってはなりません。他の社員や競合他社を含むすべての関係者との交流においても、同じ原則が適用されます。





機密情報

機密情報は、広く一般に公開されない情報またはビジネスパートナーへの開示が行われていない情報から構成されます。

機密情報を取り扱う会社の代理人および社員として、以下の事項に留意することが重要です：

- » 行動規範の原則に従って機密情報を取り扱う各自の責任は、Medlineでの勤務期間内のみでなく、当社を退職した後も延長されます
- » 私たちは皆、何らかの形で機密情報を取り扱うため、それを保護するために定められた手順に精通し、遵守する必要があります
- » 機密情報には、以下に関する情報が含まれます：
 - Medline
 - 当社のサプライヤー
 - 当社の顧客
 - Medlineと取引を行う個人または団体
- » 機密情報は、Medlineの通信システムを介して送信される場合は特に、それを必要とする意図された受信者とのみ共有します

機密情報

当社の機密情報ならびに顧客やビジネスパートナーから開示された機密情報を取り扱う際は、細心の注意を払う必要があります。機密情報には、以下のような例がありますが、必ずしもそれらに限定されません：

- » 顧客リスト
- » 価格リスト
- » 財務データ
- » 売上金額
- » 支払人情報
- » 製造工程
- » コンピュータープログラム
- » 新製品に関する企画または計画
- » 販売戦略
- » サプライヤーリスト
- » 賃金と給与

機密情報は、決して個人的な目的に利用することなく、無断使用や開示を防止するため、取り扱いの際には必ずしかるべき注意を払ってください。業務上知りえた機密情報を利用して、当該企業の株式その他の有価証券を売買することも違法行為です。

ソーシャルメディア

私用か業務上かの区別を問わず、ソーシャルメディアを利用する際は、責任をもって行う必要があります。

ソーシャル
メディアは、
恒久的です。

私用でソーシャルメディアを利用する際は、以下のことを常に心掛けてください：

- » 相手を尊重する
- » 各ソーシャルメディアの公共性を考慮する
- » 当社についての情報ははじめ顧客やビジネスパートナーについての情報など、Medlineに関連する機密情報を開示しないように注意する
- » 個人的見解を發表するのであって、Medlineを代表して發言しているのではないことを明確にする

ソーシャルメディアを業務で利用する際は、必ず直属の上司および当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）または倫理・コンプライアンス最高責任者の承認を得た上、適用される当社のガイドラインを遵守してください。

知的財産

特許、企業秘密、商標および著作権を含む当社の知的財産を保護することは、当社の企業としての成功の鍵です。また、他者の知的財産権も尊重する必要があります。

知的財産の保護に関して質問のある方は、当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）にご相談ください。

財務記録

明快、完全かつ正確な会計帳簿を保持することは、当社の業務管理の成功にとって不可欠です。また、これによって Medline と顧客やビジネスパートナーとの間に誠実かつ信頼し合える関係が維持できます。

当社は、一般に認められた会計原則に従って自社の財務記録を保持することに取り組んでいます。この取り組みを実現するため、皆さんは、取引、受領および支払いを迅速かつ正確に記録してください。これには、経費報告書、タイムカード、給与記録などの社内記録が含まれます。

透明性に関する法律

当業界に影響を及ぼし、当社と医療従事者間の金銭取引を開示することを義務付けた透明性に関する法律が存在します。このような法律は、当社が金銭取引に関する報告書を提出することを義務付けており、倫理・コンプライアンス部門または財務部門、あるいは当社ジェネラル・カウンセラー（法務最高責任者）から関連情報を求められた際は、彼らに全面的に協力し、提出した情報が正確かつ完全であることを確認することが重要です。

記録の保持

記録保持に関するすべての適用法を遵守することは、明快、完全かつ正確な記録を保管する当社のコミットメントの重要な一部です。該当する場合、皆さんは、各地域での電子記録または書面による記録の保持と処分に関する記録管理法または記録管理に関する諸規程に精通する必要があります。

会社の記録を改ざん、偽造、隠蔽したり、不当表示したりすることは、決して許されません。記録の内容に誤りまたはエラーを見つけたときは、直属の上司またはコンプライアンスリソースに連絡して、適切な解決を図ってもらってください（30-31 ページを参照）。

Q&A

Q: 私が最後に提出した経費報告書に誤りがあったことに気づいたのですが、どうすればよいですか？

A: 常に正確な記録を保持することが極めて重要です。経費報告書に誤りがあることに気づいた場合は、その誤りを直属の上司に報告し、当社の規程に従って修正してもらってください。



Q&A

Q: 政治活動に参加する前に考慮すべきガイドラインは？

A: 以下のガイドラインに留意してください：

- » Medline の資産や設備を政治活動や候補者の応援に利用することは、決して適切ではありません。
- » 皆さんの政治理念は個人的な信条であり、決して会社のものではないことを明確に示す必要があります。
- » 管理職社員は、雇用条件として、または昇給やボーナスの支給などの報酬を交換条件として、部下の社員に政治活動への参加や特定の候補者への投票を要求してはなりません。
- » 当社は、皆さんが支出した政治献金については、払い戻しを行いません。

財務上の心得:

行うべきこと

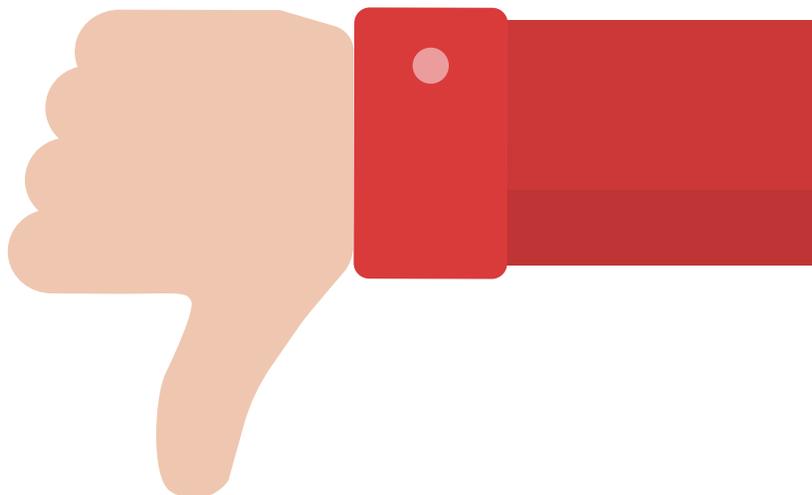
- » 経費の妥当性について疑問がある場合は、Medline の経費精算に関する規程または各地域のコンプライアンスリソースを参照してください。
- » Medline が出費の妥当性を確認できるように、領収書などの適切な文書を保管してください。
- » 当社の経費に関する規程に違反している恐れがあると思われるときは、その旨を直ちに報告し、当社がその誤りを正すために適切な手段を講じられるようにしてください。

行ってはならないこと

- » 経費報告書で仕様操作したり、上司に不正確な説明をすることにより、不適切な経費を隠蔽しないでください。接待費を自費で支払った場合でも、会社を代表して行動していることに留意してください。
- » 接待費や当社の行動規範または規程で禁止されている他の経費を自費で支払わないでください。皆さんは会社を代表しているので、それを報告する必要があります。
- » 経費報告を改ざんしたり、当社の規程に定められた上限を超えた費用を隠蔽しないでください。たとえば、費用を同僚と折半したり、別の支払請求期間に廻したり、受取人や贈答品の数を偽ったりしないでください。

政治参加

政治活動への参加は、常に個人的な選択の問題であり、私用時間内で個人的出費によって行われなければなりません。監督者の立場にある者が、部下に寄付を要請することは適切な行為では決してありません。



慈善寄付

Medline は、多様な価値ある社会運動等に対して慈善寄付を行うことにより、地域社会に利益を還元します。当社は、医療従事者やヘルスケア関連の慈善活動を支援し、病気の方や歴史的に恵まれないグループの健康と福祉を増進するため、社内規程に則って寄付を行います。当社は、災害（たとえば、ハリケーン、洪水、地震）の被災者や発展途上諸国で悲惨な状況にある被害者を救済する人道的任務も後援します。

寄付受贈者候補または受取人候補者の関連会社から、過去、現在、将来を問わず得られる（または得られた）ビジネス機会に基づいて、慈善寄付に賛成または反対することは、決して適切な行為ではありません。

詳細は、各地域のイントラネットサイトにある「慈善寄付に関する規程」を参照してください。

Medline は、当社が事業を行っている地域社会に利益還元をします。



一口メモ

顧客への慈善寄付

Medline が顧客の慈善活動に貢献することが適切である場合もあります。

Medline では、以下のような場合のみ、この種の慈善活動を支援します：

- » 当社が事業を行っているコミュニティの改善に資する場合
- » 当社の慈善活動の方針に沿っている場合
- » ビジネスを確保したり、その他いかなる利益を目的とするものでなく、またそのように見なされない場合



コンプライアンスリソース

連絡先

質問があるとき、誰に問い合わせればよいかを知るのは、必ずしも簡単ではありません。倫理コンプライアンスに関する問題で疑問や懸念を提起する必要がある場合には、Medline 社内で用意されているさまざまなリソースを利用してください。

直属の上司

地域の社内名簿を参照してください

倫理・コンプライアンス担当役員 (MEDLINE)

電話 : +1 847.949.5500

電子メール : complianceoffice@medline.com

郵送先住所 : Medline Industries, Inc.

Three Lakes Drive,

Northfield, Illinois 60093, USA

ジェネラル・カウンセラー (法務最高責任者) (MEDLINE)

電話 : +1 847.949.3000

郵送先住所 : Medline Industries, Inc.

Three Lakes Drive,

Northfield, Illinois 60093, USA

欧州、法務・コンプライアンススタッフ – 欧州担当

電話 : +31 26 312 7243

電子メール : compliance.europe@medline.com

郵送先住所 : Medline International B.V. Nieuwe Stationsstraat 10

6811 KS Arnhem, The Netherlands

人事担当者

地域の社内名簿を参照してください

情報セキュリティ最高責任者

電話 : +1 847.643.4362

郵送先住所 : Medline Industries, Inc.

Three Lakes Drive,

Northfield, Illinois 60093, USA

米国外、倫理・コンプライアンスリエゾン

地域の社内名簿を参照してください

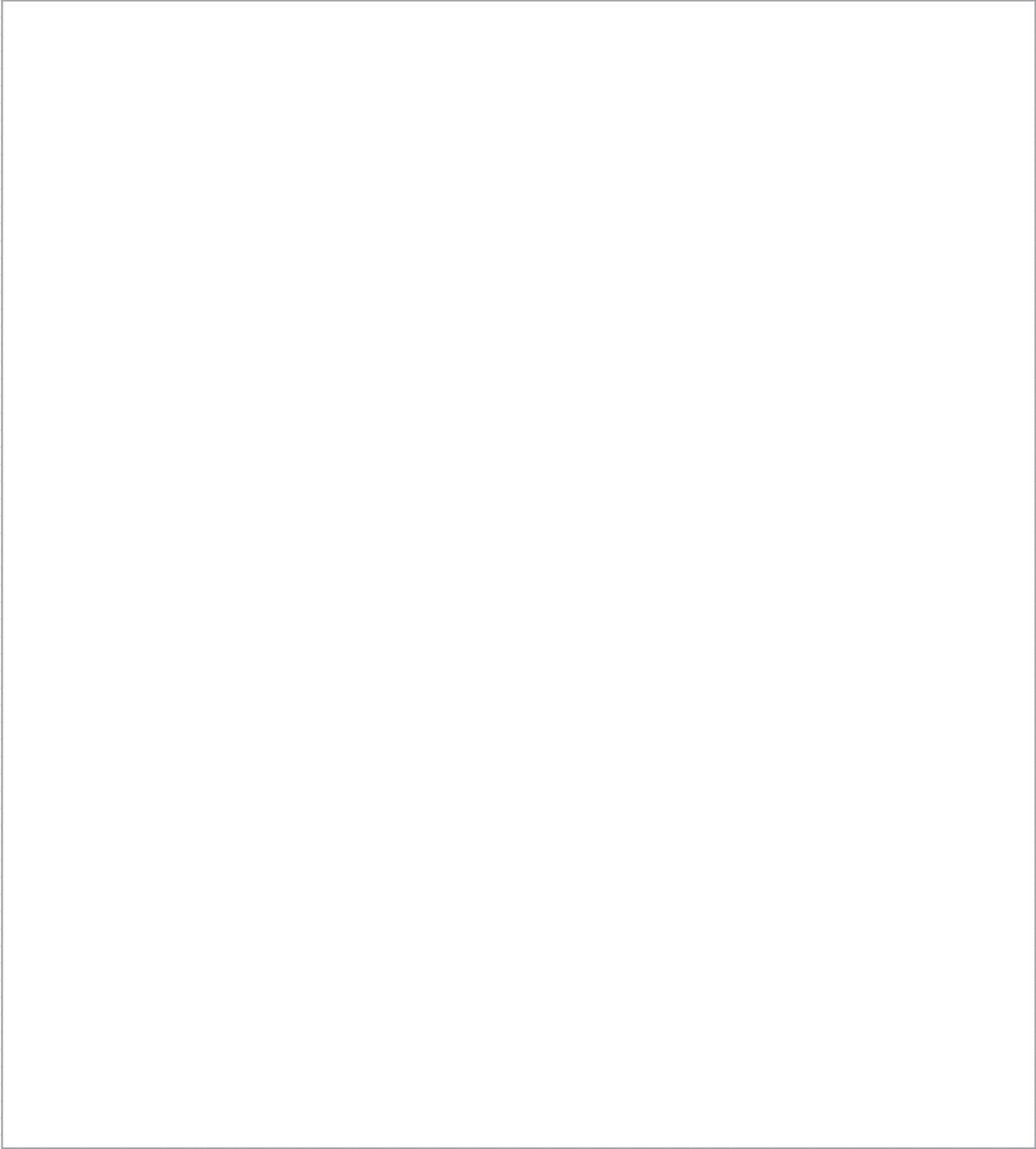
MEDLINE の OPEN TALK ヘルプライン

31 ページの図を参照してください

Medline の Open Talk ヘルプライン

匿名で報告する場合（地域の法律で禁じられていない限り）、Medline の倫理・コンプライアンス関連ヘルプライン（1日24時間、週7日）の下記のフリーダイヤルを利用するか、インターネットで次のサイトにアクセスして懸念を提起することができます。 www.medlineethicsandcompliancehelpline.ethicspoint.com

米国.....	1-866-384-4277	メキシコ.....	001-800-840-7907; または 001-866-737-6850 (英語)
オーストラリア.....	1-800-339276	オランダ.....	0800-0226174
オーストリア.....	0800-291870	ニュージーランド.....	0800-447737
ベルギー.....	0800-77004	ノルウェイ.....	800-15654
カナダ.....	英語: 1-866-833-3450 フランス語: 1-855-350-9393	ポーランド.....	0-0-800-1211571
中国.....	北部: 10-800-712-1239 南部: 10-800-120-1239	ポルトガル.....	8008-12499
デンマーク.....	80-882809	プエルトリコ.....	1-866-833-3450
フランス.....	0800-902500	シンガポール.....	800-1204201
ドイツ.....	0800-1016582	スロバキア.....	0800-001-544
インド.....	000-800-100-1071; または 000-800-001-6112	スペイン.....	900-991498
アイルランド.....	1-800615403	スウェーデン.....	020-79-8729
イタリア.....	800-786907	スイス.....	0800-562907
日本.....	0066-33-112505 または 00531-121520	台湾.....	00801-13-7956
ルクセンブルグ.....	800-2-1157	タイ.....	001-800-12-0665204
マレーシア.....	1-800-80-8641	英国.....	08-00328483
		ベトナム.....	120-11067
		その他の諸国.....	503-619-1888



Medline Industries, Inc. Three Lakes Drive, Northfield, IL 60093

Medline United States
1-800-MEDLINE (633-5463)
medline.com | info@medline.com

Medline Canada
1-800-396-6996
medline.ca | canada@medline.com

Medline México
01-800-831-0898
medlinemexico.com | mexico@medline.com

最新情報

